

製品名: NEUS ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab14626**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	45kDa

抗原情報

遺伝子名	SERPINI1 PI12
別名	
遺伝子 ID	5274.0
SwissProt ID	Q99574
免疫原	ヒトタンパク質の一部領域から得られた合成ペプチド

背景

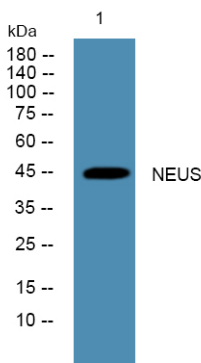
この遺伝子は、セリンプロテアーゼ阻害因子であるセルピンスーパーファミリーのメンバーをコードしています。このタンパク質は主に脳の軸索から分泌され、組織型プラスミノゲン活性化因子と反応して阻害します。軸索成長の調節とシナプス可塑性の発達に

関与していると考えられています。この遺伝子の変異は、家族性ニューロセルピン封入体脳症（FENIB）を引き起こします。FENIBは、変異ニューロセルピンポリマーの蓄積を特徴とする、優性遺伝性の家族性脳症およびてんかんです。同じタンパク質をコードする複数の選択的スプライシングバリエーションが同定されています。[RefSeq 提供、2008年7月]、疾患：SERPINI1の欠陥は、家族性ニューロセルピン封入体脳症（FEN1B）の原因です[MIM:604218]。FEN1Bは、臨床的には常染色体優性遺伝性認知症、組織学的には特異な神経封入体、生化学的にはニューロセルピンのポリマーを特徴とする。機能：セリンプロテアーゼ阻害剤であり、プラスミノゲン活性化因子とプラスミンを阻害するがトロンピンは阻害しない。成体神経系におけるシナプス結合の形成または再編成、ならびにシナプス可塑性に関与している可能性がある。組織型プラスミノゲン活性化因子による細胞損傷からニューロンを保護する可能性がある。類似性：セルピンファミリーに属する。組織特異性：主に脳で発現する。

研究分野

-

画像データ



KB細胞溶解液のウェスタンブロット分析、NEUSウサギポリクローナル抗体を1:1000に希釈し、4°で一晩